

# 吉村美栄子知事四選を果たす



2021年2月14日  
IV-22  
◇発行◇  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子  
＜連絡先＞  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## 2021年度予算要望

2月4日、日本共産党山形県委員会（本間和也委員長）と党県議団は、1月24日に4期目の当選をした吉村美栄子知事に対し、2021年度県政運営に関する提案、要望を提出しました。

関連の15項目と2021年度予算要望、提案の重要項目18項目を提出したものです。

## 請願また継続

12月議会で継続審査となつた「東京電力福島第一原発事故により発生したALPS処理水の海洋放出を行わないよう求める意見書の提出について」が審議され、採択を主張した3人（私と県政クラブ2人）と継続を主張する自民党3人の同数となりましたが、委員長（自民党）が継続とし、12月議会と同様の結果となりました。



「今後とも県民のみなさんの声を聞いて、命と暮らしを守る県政を進めていきたい。最大の課題として新型コロナウイルス対策に取り組んでいきたい」と応えました。

提案、要望を吉村知事に提出する本間県委員長と県議団

「介護施設のコロナ対応は？」  
昨年、県はコロナ感染拡大に備えて、市町村や関係団体と連携し、感染防止対策の強化と事業継続のため、施設職員が感染した場合の相互派遣体制の構築などの福祉事業所ネットワークをつくりました。

私は、「昨年から今年にかけて、介護施設でスラスタが発生したがネットワークは機能したのか」と質問しました。

長谷川浩長社会課長は「ネットワークには応援元応援職員として489人登録している。今回、コロナ発生施設で同一法人内の他施設から職員が配置されたがそこで不足した施設に応援元施設から2名が派遣され、ネットワークの機能が発揮された」と答えました。

私はさらに、「介護職員も、医療従事者と同様の不安と緊張の中で仕事をしている。小規模事業所は事業継続計画（BCP）策定の負担も

国民に冷たい読めます。この力を国にします。み上げ答弁、政治政へ！とお金の問題、学術会議会員の任命拒否問題など、自衛隊推薦候補には大きな逆風になった。2議席を、小選挙区は3区の梅木たけし予定候補を含め10月までには必



署名運動を行う  
原水協のみなさん

「核兵器の違法性が確定したことを喜びたい。唯一の被爆国の政府として菅政権に核兵器禁止条約への一刻も早い署名批准を求めましょう」と呼びかけました。

署名に応じた女性は「ほんとにそうですよね。日本政府は条約に参加すべきです」ときっぱり言い切っていました。

**2月議会は**  
2月2日の議会運営委員会では、新年度の予算内示会が16日、県議会2月定例会は2月18日から3月18日まで開催される予定であることが示されました。請願締切り開会日の2月18日です。

### ゆり子の視点

#### 次は総選挙

知事選では県政のコロナ対策を評価する一方、菅政権に対する不満や権力に対する批判を多く聞きま

国民に冷たい読めます。この力を国にします。み上げ答弁、政治政へ！とお金の問題、学術会議会員の任命拒否問題など、自衛隊推薦候補には大きな逆風になった。2議席を、小選挙区は3区の梅木たけし予定候補を含め10月までには必

核兵器禁止条約 日本も参加を

条約が発効した1月22日、全国で署名、宣伝行動が行われました。私も山形原水協の行動にも参加し、「核兵器の違法性が確定したことを喜びたい。唯一の被爆国の政府として菅政権に核兵器禁止条約への一刻も早い署名批准を求めましょう」と呼びかけました。

署名に応じた女性は「ほんとにそうですよね。日本政府は条約に参加すべきです」ときっぱり言い切っていました。

